

「胃と腸」としては久しぶりに画像だけではなく、本文として読み応えのある特集であった。食道アカラシアはいまだ原因、治療法の確立されていない疾患であることは周知の点である。neuro-transmitter からみた本症例の捉え方、病理からみた本症例の捉え方、機能疾患である本症例の形態診断、治療法に関する考え方などが主題で述べられた。主題症例では本疾患の問題点として、その存在を知らない患者は放置され、また高率に発生する食道癌を早期の段階で見落とすことになる。本号では原因の不明な本疾患の最近の免疫染色、病理学的知見が述べられているが、あくまでも根本的治療に結びつく結論ではない。本号を読破することで食道に関する愁訴のある症例の疾患を理解できれば幸いである。本疾患では病悩期間

が最も癌発生の危険因子であり、たとえ下部食道の拡張の治療が外科的・内科的に試行されたとしても、その危機感は減少しないのが特徴である。本疾患は若年者の発症が多く、長期的観察が必要であり、この点の informed consent も大切な点である。多かれ少なかれ食道内には食物残渣、液体の貯溜があり、これらを排除した後の精密なヨード染色が不可欠な疾患である。以前の外科手術では逆流性食道炎-Barrett 食道癌の発症が問題であったが、今日ではきめの細かい内視鏡観察により扁平上皮の粘膜癌の発見の機会が多くなってきた。癌発生部位は食道の拡張部に多いことも本号で明らかになった。最後に本疾患の存在を認識し、かつ病悩期間が短い段階で治療に入ることの重要性を強調したい。

胃と腸

10月号(第35巻・第11号) 予告

発売予定

10月25日

定 価 (本体2,300円+税)

主題／胃カルチノイド—新しい考え方

序 説	胃カルチノイド—新しい考え方	新潟大・1 病理	渡 辺 英 伸
主 題	胃カルチノイドの分類の変遷	新潟大・1 病理	西 倉 健・他
	胃神経内分泌腫瘍(カルチノイド、神経内分泌癌)の遺伝子異常		
	—MEN1 遺伝子を含む	福井県立病院・病理	海崎 泰治・他
	胃カルチノイドの臨床病理	福大筑紫病院・病理	岩下 明德・他
	胃カルチノイド 17 例の臨床像—背景粘膜からみた臨床分類		
	および A 型胃炎との関係	川崎医大・消内	平川 克哉・他
	経過観察からみた A 型胃炎に伴う胃カルチノイドの動態	福井県立病院・外科	細川 治・他
	胃カルチノイドの治療	東京医大・4 内	川口 実・他
主題研究	<i>H. pylori</i> 胃炎と胃カルチノイド(sporadic type)の関連性	新潟大・3 内	佐藤 祐一・他
主題症例	広範な微小肝転移を認めた sporadic type 胃カルチノイドの		
	1 例	福井県済生会病院・外科	浅田 康行・他
	原発巣切除後長期観察中に肝転移を発症した		
	胃カルチノイドの 1 例	国立がんセンター中央病院・内視鏡部	後藤田卓志・他
	A 型胃炎に伴う多発胃カルチノイドの長期経過例	福大筑紫病院・消化器科	松井 敏幸・他

胃と腸 (第35巻 第10号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho @ igaku-shoin.co.jp

2000年9月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円+税)(配送料116円)

2000年年ごめ予約購読料35,140円

(2号分の増刊号を含む14冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎(03)3814-8541

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 2000, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 永安・小長谷・小松原・向山